

東京大学との共同研究で地域拠点施設の開設と モビリティサービスの社会実験を行います

中津川市と東京大学 交通・都市・国土学研究室との共同研究で、付知地域デザインミュージアム開設と自動運転を見据えたモビリティサービスの社会実験を行います。

<社会実験>

- 期間 令和4年10月15日(土)、16日(日)の2日間
- 時間 10時00分～18時00分 (8:00～農産物運搬開始)
- 場所 付知地域デザインミュージアム【上見屋】(中津川市付知町6955-8)及び付知町地内(運行ルートとサービス区域)
- 目的 地域拠点と新たなモビリティサービスを地域住民に利用していただき、将来に向けて住民生活がより充実出来るよう実装に向けた課題を検証する
- 実験内容 以下の3つの実験を行います。 *別紙、社会実験チラシ
 1. 付知地域デザインミュージアム開設(上見屋の一部)【建物127㎡/広場381㎡】
 - ・歴史的建造物の一階をリノベーション、建物向かいの広場を整備し地域拠点の創出
 - ・地域商品の販売、カフェの営業、付知の歴史映像やグッドデザイン受賞作品などの展示
 2. お買い物クーポン付きモビリティサービス(無料運行)
 - ・道の駅と付知地域デザインミュージアムを結ぶルートでシャトルバスの運行
 - ・町内全域(一部を除く)を対象に、有人で予約制のデマンド運行(料金無料)
 - *予約方法は、WEBアプリ及び電話で対応
 3. 自動運転車両の展示会
 - ・拠点施設の向かいにある広場では、愛・地球博記念公園で走行した自動運転車両「Milee(マイリー)」を展示 ※走行実験は行いません。
- 参考 令和2年度から令和4年度までの3年間実施する共同研究では、自動運転技術を活用したまちづくりを目指しています。内閣府未来技術社会実装事業に採択されており国などの支援を受けて実施しています。

<付知地域デザインミュージアム オープニング記念行事>

- 日時 令和4年10月15日(土)11:00～
- 場所 付知地域デザインミュージアム(上見屋)
- 内容
 - ・オープニングセレモニー 11:00～12:00
 - ・シンポジウム 13:00～15:45 *別紙、記念行事チラシ
- 主催 中津川市 次世代交通研究室、東京大学 交通・都市・国土学研究室

お問い合わせ先

中津川市次世代交通研究室 担当者：北原
電話：0573-66-1111(内線334)

地域をつなぐ実践へ

—地域デザインミュージアムネットワークの展開—



TED ネットワークオープニング記念行事

TERRITORIAL DESIGN MUSEUMS IN NETWORKS

10月15日 **土** 11時～15時45分

会場 付知地域デザインミュージアム

※参加費無料。

会場の定員は15名ほどです。オンラインとのハイブリッド開催を致します。

TED オープニングセレモニー 11時～12時

開会挨拶 青山節児（中津川市長）

祝辞 ビデオメッセージ

野志克仁（松山市長）、土井三浩（日産自動車常務執行役員）

内藤廣（内藤廣建築設計事務所）

対談

羽藤英二（東京大学）、佐多祐一（Infra）、大山雄己（芝浦工業大学）

青山節児、北原典明（北原建築）、早川篤志（上見屋）

TED シンポジウム 13時～15時45分 *..オンライン報告

基調講演 山の歴史を活かすデザイン *伊藤毅（青山学院大学）

各地から—付知・浪江・松山・那覇

ネットワークのなかの付知—川から道へのインフラ史 児玉千絵（國學院大学）

付知における製材業の立地動態から見た地域形成史 北原麻理奈（横浜市立大学）

子供たちとつくる復興デザイン—浪江 *福谷きり（東京大学）

旧村の歴史を活かす地域デザイン—松山 *羽藤英二（東京大学）

沖縄の文化芸術と日常の展開—那覇 *林立騎（那覇文化芸術劇場なはーと）

座談会 地域デザインの風格 その発展的継承のために

伊藤毅、羽藤英二、林立騎、川口真沙美（日本デザイン振興会）

閉会挨拶 木村研一（中津川市理事）

オンライン参加 下記QRコードよりお申し込みください。

お問い合わせ 中津川市次世代交通研究室 TEL:0573-66-1111

主催 中津川市、東京大学交通・都市・国土学研究室

※10月15日・16日は付知町でモビリティの社会実験を実施中です。



付知 bin
Tsukechi Bin



③中津川駅前⇄地域デザインミュージアム⇄倉屋温泉 北恵那バス特別切符

10月15日・16日の2日間のみ有効の北恵那バス特別木簡切符を、限定50枚で販売いたします。中津川駅前と倉屋温泉おんぼいの湯を結ぶ区間が1日2,000円で乗り放題です。上見屋バス停で降りていただくと、付知地域デザインミュージアムに立ち寄ることができます。中津川駅隣のにぎわいプラザにて平日9:00-18:00、実験当日の2日間は8:30-16:30で販売しています。ヒノキを使った木簡切符をぜひお買い求めください！



えーに付知！地域デザインミュージアム開設 モビリティサービス 「付知 bin」の社会実験

2022年 10 / 15 (土)・16 (日) 10:00~18:00

〔会場〕付知地域デザインミュージアム (上見屋)
辻広場 (上見屋向かい駐車場)

主催 / 中津川市、東京大学交通・都市・国土学研究室 協賛 / (株)豊田中央研究所
問い合わせ先 / 中津川市次世代交通研究室 TEL 0573-66-1111 (内線 335)

●●●●●●●●●● お買いものクーポン・特典情報 ●●●●●●●●●●

〔無料シャトルバス又はタクシー型無料バスをご利用の方〕

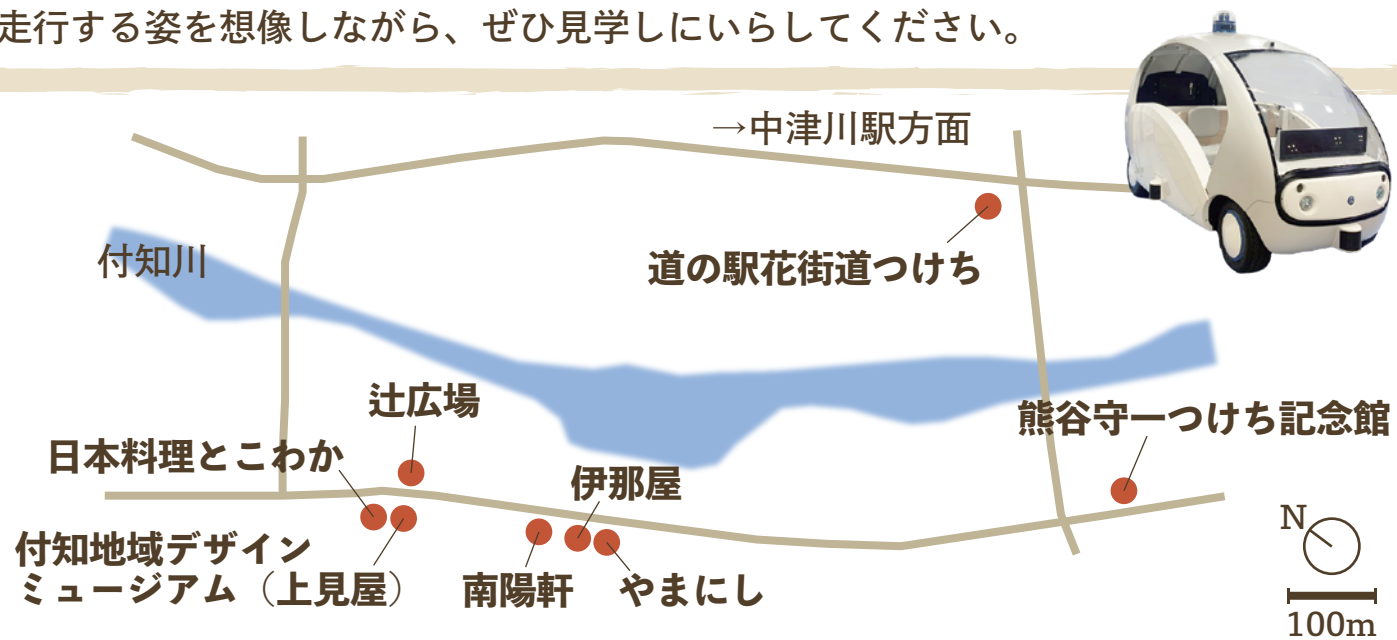
付知地域デザインミュージアム (上見屋)、日本料理とこわか、伊那屋 (菓子店)、南陽軒 (菓子店)、スーパーやまにしでご利用いただけるクーポン券をお渡しします。1,000円以上のお買い上げで500円割引となります。1グループに1枚の配布です。

〔北恵那バス特別木簡切符をご利用の方〕

付知地域デザインミュージアム (上見屋)、日本料理とこわか、伊那屋、南陽軒、スーパーやまにし、熊谷守一つけち記念館にて、木簡切符をご提示いただくと、特典商品のサービスや割引を受けることができます。クーポン券との併用は不可です。

実験3 自動運転車両の展示会

付知地域デザインミュージアム (上見屋) の向かい側の駐車場を、「辻広場」として新たに整備を行いました。広場のデザインは、芝浦工業大学の大山雄己先生が担当しています。この辻広場を舞台に、10月15日・16日の2日間は Milee (マイリー) という自動運転車両の展示会を行います！今回は残念ながら走行実験を実施することはできませんが、実物を見ていただくことができる機会となります。付知の町を走行する姿を想像しながら、ぜひ見学しにいらしてください。



実験1 付知地域デザインミュージアム

上見屋の一部が、付知地域デザインミュージアムとして生まれ変わります！農産物の物販やカフェなどを準備してお待ちしています。ぜひお立ち寄りください。

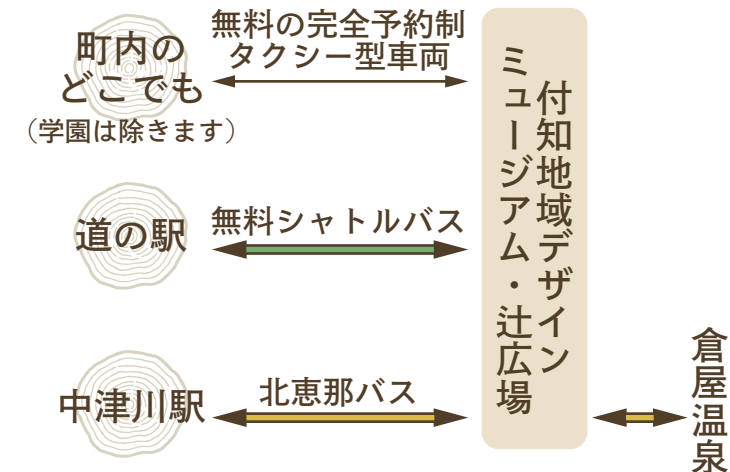
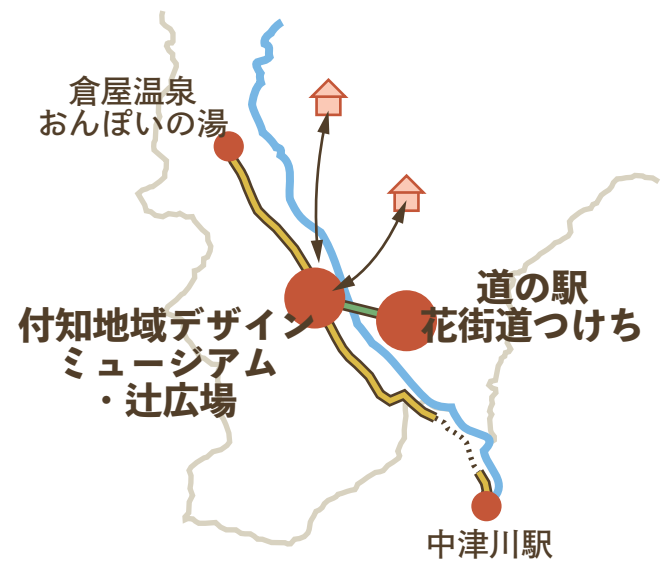
実験2 クーポン付きモビリティサービス

付知地域デザインミュージアムの開館を記念して、付知銀座のお店で使えるお買いものクーポン付きの無料シャトルバスと、完全予約制のタクシー型車両を運行します (付知 bin)。中津川駅からお越しの方に向けては、北恵那バスの特別木簡切符を販売予定です。

実験3 自動運転車両の展示会

辻広場にて、自動運転車両 Milee の展示会を行います。※走行実験は致しません。

〔会場へのアクセス〕



実験1 付知地域デザインミュージアム

付知銀座で明治8年に創業した上見屋の、旧街道沿いのかつての土間の部分をリノベーション（改修）し、「付知地域デザインミュージアム」としてオープンいたします！趣のある古い建物を生かしたリノベーションは、中津川市と東京大学交通・都市・国土学研究室の共同研究の一環で行いました。設計は、東京の建築設計事務所 Infrac の佐多祐一氏が、施工は付知の（株）北原建築さんが務めています。

上見屋の目を引く外観に、いつか中に入りたいと思っていた方もいるのではないのでしょうか。これからは、その一部が付知地域デザインミュージアムとして、誰もが自由に利用できる場所となります。10月15日・16日はオープニングを記念したイベント等も開催いたしますので、ぜひお立ち寄りください。

基本情報

開館時間 10:00～18:00

15日（土）11:00 からオープニングセレモニーを開催いたします。

ミュージアムコーナー

付知にまつわる映像作品や木工作品などを展示します。

カフェコーナー

コーヒー（HOT/ICE）※下呂市萩原町の緑の館の豆を使用します。

カフェオレ（HOT/ICE）

ブルーベリースカッシュ

りんごジュース

プリンソフトクリーム

テリーヌショコラ

物販コーナー

ジャンボくん : マーブルチョコパン、マーブルカマンベール

※16日（日）のみ販売です。

おやつと刺繍 03 : クッキー等

上見屋 : 弁当、プリン、青川サイダー

南陽軒 : 栗きんとん

付知農産加工グループ : 豆腐プリン

町内の農家さん : 規格外の農産物



※カフェ、商品等は変更になる場合がございます。ご了承ください。

実験2 お買いものクーポン付きモビリティサービス

付知地域デザインミュージアムの開館を記念して、3種類のモビリティサービスを実行いたします。昨年の社会実験に引き続き「付知 bin」というロゴを貼り付けたバスを走らせますので、この機会にぜひご利用いただけますと幸いです。

①〔予約不要〕道の駅⇄付知地域デザインミュージアム 無料シャトルバス

道の駅→ミュージアム

※15分に1本運行

(道の駅発)	(ミュージアム着)
10:00	10:05
10:15	10:20
10:30	10:35
10:45	10:50
11:00	11:05
⋮	⋮
17:30	17:35

ミュージアム→道の駅

※15分に1本運行、熊谷守一記念館経由

(ミュージアム発)	(記念館発)	(道の駅着)
10:15	10:20	10:25
10:30	10:35	10:40
⋮	⋮	⋮
16:15	16:20	16:25
16:30	-	16:35
⋮	-	⋮
18:00	-	18:05

※モビリティサービスとは、自動車による移動や運搬をスムーズに行うためのサービスのことです。

②〔要予約〕町内⇄付知地域デザインミュージアム タクシー型無料バス

◆ご利用の流れ◆

1. 予約

迎えに来てほしい地点が、右図の運行サービスの範囲内にあるかどうかを確認。WEBアプリ又は電話でご予約ください。当日と翌日の予約ができます。①エリアからは出発時間の40分前まで、②エリアからは出発時間の20分前まで先着順で予約を受け付けます。帰りもご希望の場所までお送りしますが、予約は不要です。

【お電話でのご予約方法】

窓口：認定 NPO 法人つけちスポーツクラブ
0573-82-2005（受付時間 8:30-18:00）

予約時間、お名前、出発地点をお伝えください。人だけでなく物品だけをミュージアムまで運ぶことも可能です。ご希望の方は、予約時にお申し付けください。

【運行サービス範囲】



出典：Google Map に加筆

2. 車両待ち：予約時間の10分以内を目処に伺います。しばらくお待ちください。

3. 乗車：お名前を確認します。

4. 降車：付知地域デザインミュージアム到着。



【WEBアプリ】



QRコードを読み込んで、予約サイトにアクセスください。